

電子出版ワークショップ成果発表会

2011.3.4

Apple Store, Shinsaibashi





有限会社ドットワン

大阪府中央区石町1-1-1天満橋千代田ビル2号館10階

内田 未来

@miki7500



大阪・天満橋に事務所を構える小さな会社です。

社員は2名。父親と私です。

業務内容は印刷物 - DTP - のデザインとウェブデザインです。私は主にウェブを中心に担当しておりますが、なにぶん二人しかいない会社なもので、企画構成からデザイン、コーディング、必要な場合はFlashや簡単なプログラムまで、自分で作っています。

ビジネスサイト 担当者の お仕事

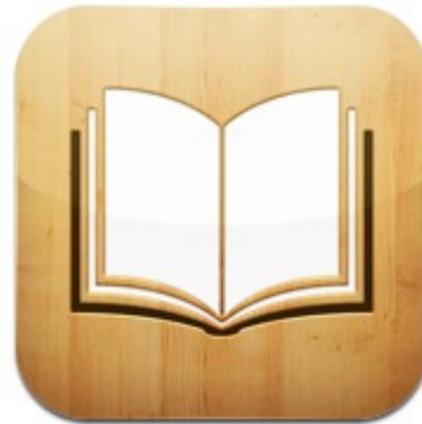


http://www.dot1.jp/web_beginners

今回制作したのはこちらの書籍...というより、パンフレットです。
下のURLからダウンロードしていただけます。



iTunes



iBooks

ダウンロードしたzipファイルを解凍すると、フォルダの中にepubファイルが入っていますので、それをiTunesの「ブック」にコピーし、iPadやiPhoneを同期していただくと、それらのデバイスに入っているiBooksで読んでいただくことができます。今回制作した本は、iPadで読んでいただくことを想定して制作しましたので、iPhoneで見ると表示が崩れるところがあるかと思います。

サイト構築のワークフロー

サイト担当者のミッション

企画構成

構想の共有

原稿の準備と制作

校正について

サイトの運用と分析

企業にお勤めの方が、初めてウェブサイトの担当を任された時、何をすべきか知っている人というのはごく少数だと思います。コラム欄には、ある会社の新任担当者がステップアップする話をつけ、いかにも学習用コンテンツな顔つきを柔らかくしました。（ここでiPadを使ってデモをしました）
これを読んでもhtmlを書けるようになったり、ホームページビルダーを使えるようにはなりません。企画を立案し、それを社内外の制作スタッフと一緒に作り上げていく手法を紹介しています。即席のコーダーを増やしたところで良い企画を作れるようにはなりませんし、良い企画が作れなければGoogleに愛されるサイトにはならないからです。むしろ、このパンフレットをクライアント教育の教材に使っていただければと思い、クリエイティブコモンズライセンスを採用しました。つまり、制作側からクライアントを洗脳してお仕事をいっぱい発注していただくというわけです。



マガジン航

<http://www.dotbook.jp/magazine-k>



横浜工文社 日本語Epubブックサンプル

<http://www.kobu.com/docs/epub/index.htm>



Open Publication Structure (OPS) 2.0

Open Packaging Format (OPF) 2.0

OEBPS Container Format (OCF) 1.0

※@lost_and_found @naokisatoname 両氏の翻訳を参照

制作にあたり、参考にしたのはこちらです。

「マガジン航」はボージャー社の電子出版と未来の本についてのブログサイトですが、こちらには良い記事が掲載されていて、世間の電子書籍ブームに流されない電子書籍の事情を知ることができます。

「横浜工文社」は読んで字の通り技術系の会社です。こちらで日本語フォント周りが解決された素晴らしいepubのサンプルが配布されておりましたので、これをダウンロードして、ファイルの中身をひとつずつ見て行きました。

ファイルの中身を見る上では、2010年10月段階で公開されていたepub2.0規格に照らし合わせてみたのですが、それが一番下の3つです。こちらは米印のお二人が日本語翻訳を公開されていたので、それをありがたく使わせていただきました。



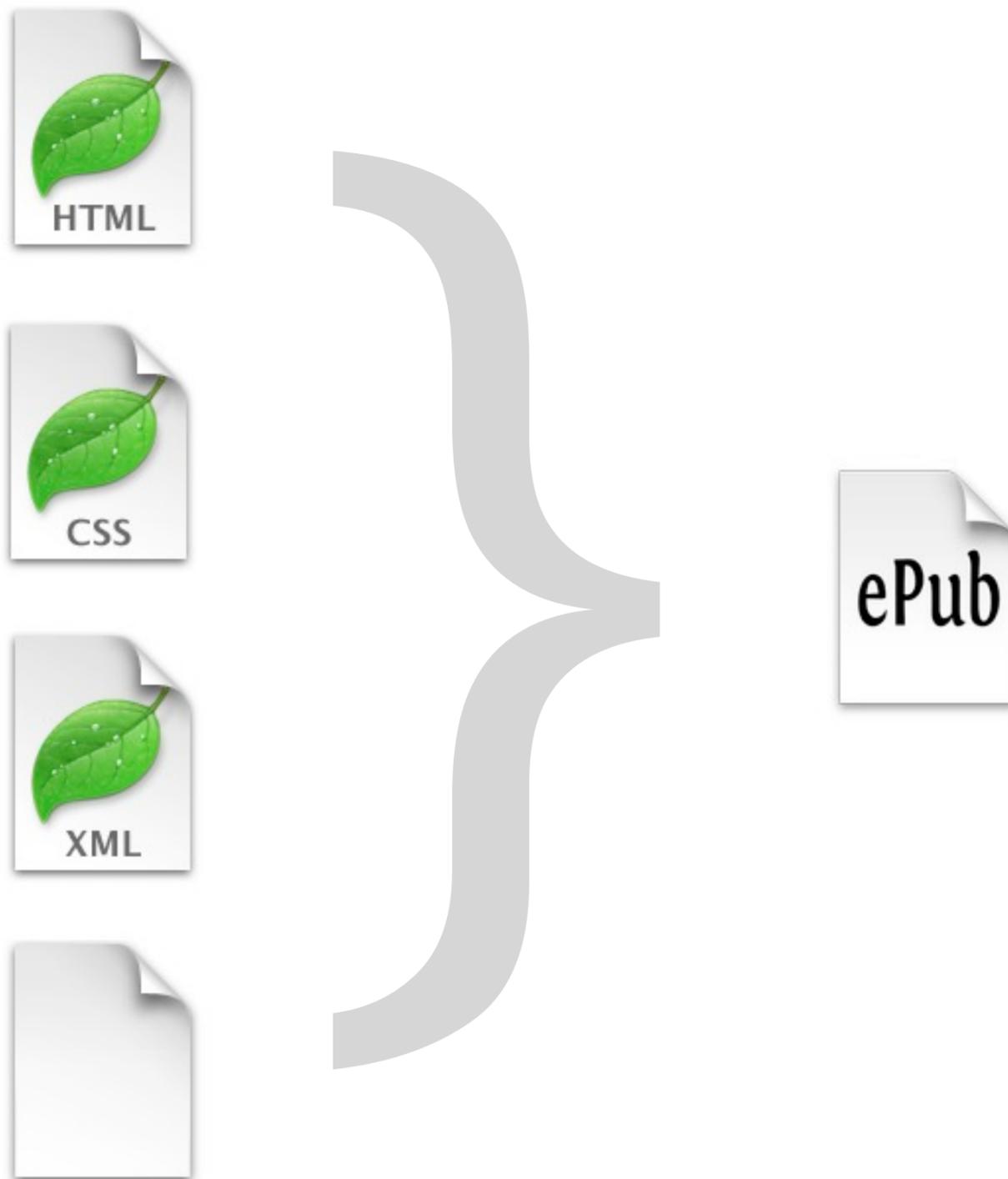
Coda



ターミナル

次に制作に使ったものです。

CodaはMac用のテキストエディタです。とても使い勝手が良いので、お使いでない方はぜひ一度お試しください。ターミナルはMac OSにあらかじめ入っているものです。Windowsで言うところのコマンドプロンプトにあたります。こちらはファイルをzip圧縮する時に使いました。



epubそのものは2010年秋段階では、いわゆる日本語組版的なこと -縦書きやルビ- はほとんどできないということは承知の上で、とにかく作ってみようという気分でスタートしました。

htmlに本文を書き、cssで簡単なスタイルを指定し、それにxmlの目次と書籍のメタデータをつけて、zipにまとめ、拡張子をepubにしたもの、これがepub形式の電子書籍です。

紙媒体書籍のサンプル版

商品カタログ

営業資料

取扱説明書

各種パンフレット

現段階では、日本の書籍の流通に乗せるには未熟な規格ですので、今の時点で可能なビジネス展開としてはこのようなものが考えられると思います。

弊社でも、こうした電子書籍形式の制作物をこれまでの印刷物とウェブにプラスする制作メニューの一つとして行きたいと考えています。

ありがとうございました

